

総合的な診療能力を有する医師等の 地域に必要な人材養成に関する 文部科学省の取組と今後の方向性



文部科学省医学教育課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける総合診療に関する記載

- 医師養成には、6年間の卒前教育に加えて、臨床研修や専門研修等、一定期間の時間を要する。このため、これらの専門教育を経て、学生が医療人として活躍する2040年以降の社会も想定し、モデル・コア・カリキュラムを改訂する必要がある。2040年頃、日本の高齢人口はピークを迎えるが、それ以降も高齢化率は上昇を続けると予測されている。これに伴い、基礎疾患を有する患者や、また様々な社会的背景を有する患者等の割合の増大が見込まれ、これらの患者・生活者を総合的にみる姿勢が、医療人として求められる。以上を踏まえ、今回コアカリ改訂において「総合的に患者・生活者をみる姿勢」を資質・能力に追加した。

【医学】R4版 第1章 医師として求められる基本的な資質・能力

GE 総合的に患者・生活者をみる姿勢 患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。

【医学】R4版 第2章 学修目標

GE-01:全人的な視点とアプローチ

患者の抱える問題を臓器横断的だけでなく心理・社会的視点で捉え、専門領域にとどまらない姿勢で責任をもって診療に関わり、最善の意思決定や行動科学に基づく臨床実践に関与できる。

GE-01-01 臓器横断的な診療

GE-01-02 生物・心理・社会的な問題への包括的な視点

GE-01-03 患者中心の医療

GE-01-03-03 医療の継続性（時間・情報・関係等）がもたらす影響の概要を理解している。

GE-01-04 根拠に基づいた医療（EBM）

GE-01-04-06 患者の個別性や状況を考慮してエビデンスの適用について考えることができる。

GE-01-05 行動科学

GE-01-05-03 健康に関する行動経済学の知識を活用できる。

GE-01-06 緩和ケア

GE-02:地域の視点とアプローチ

地域の実情に応じた医療・保健・福祉・介護の現状及び課題を理解し、医療の基本としてのプライマリ・ケアの実践、ヘルスケアシステムの質の向上に貢献するための能力を獲得する。

GE-02-01 プライマリ・ケアにおける基本概念

GE-02-02 地域におけるプライマリ・ケア

GE-02-02-02 地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。

GE-02-03 医療資源に応じたプライマリ・ケア

GE-02-02-03 患者の居住する地域における各疾患の罹患率、有病率等の指標を用い、臨床推論で活用できる。

GE-02-04 在宅におけるプライマリ・ケア

GE-03:人生の視点とアプローチ

患者・生活者の成長、発達、老化、死のプロセスを踏まえ、経時的に患者・家族・生活者に起こり得る精神・社会・医学的な問題に関与できる。

GE-03-01 人生のプロセス

GE-03-02 小児期全般

GE-03-03 胎児期、新生児期、乳幼児期

GE-03-04 学童期、思春期、青年期、成人期

GE-03-05 老年期

GE-03-06 終末期

GE-04:社会の視点とアプローチ

文化的・社会的文脈のなかで生成される健康観や人々の言動・関係性を理解し、文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点から、それを臨床実践に活用できる。

GE-04-01 医学的・文化的・社会的文脈における健康

GE-04-01-02 患者が受療に至るまでにどのような過程があるかを生活者の視点から説明できる。

GE-04-02 社会科学

表4. 基本的診療科

総合診療科

「総合診療科」又は「総合診療領域」の専門研修プログラムを有する大学病院

「総合診療科」を有する大学病院は、国立は23大学病院、公立は6大学病院、私立は16大学病院。
また、「総合診療領域」の専門研修プログラムを有する大学病院は、国立は36大学病院、公立は7大学病院、私立は24大学病院。

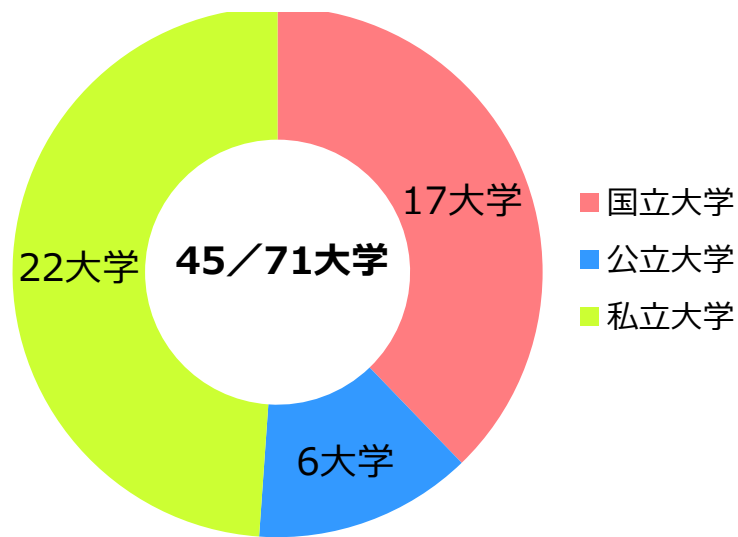
種別	「総合診療科」を有する大学病院	「総合診療領域」の専門研修プログラムを有する大学病院
国立大学病院	23大学病院/42大学病院	36大学病院/42大学病院
公立大学病院	6大学病院/8大学病院	7大学病院/8大学病院
私立大学病院	16大学病院/31大学病院	24大学病院/31大学病院
合計	45大学病院/81大学病院	67大学病院/81大学病院

※総合診療科のほかにも、中央診療施設等において総合診療部や総合診療センターとして存在する大学病院もある。

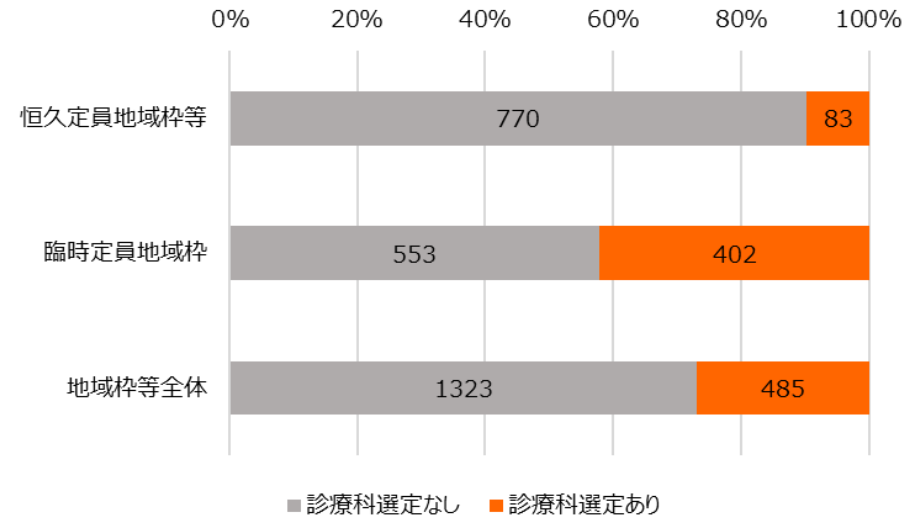
(出典) 国立大学病院長会議「国立大学病院資料」及び日本専門医機構HPを基に文部科学省医学教育課において作成

令和6年度診療科選定地域枠（推奨を含む）

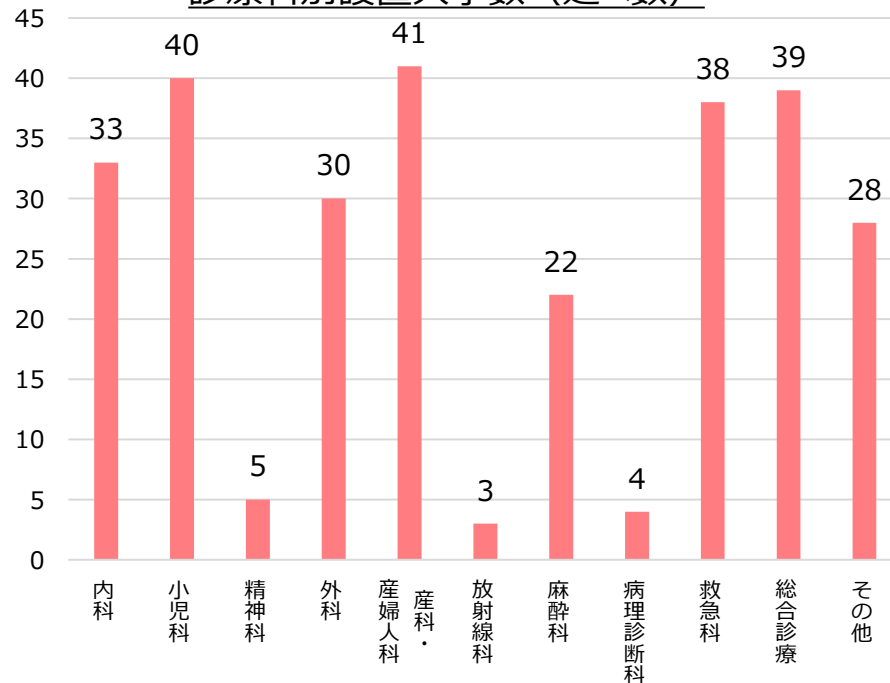
設置大学



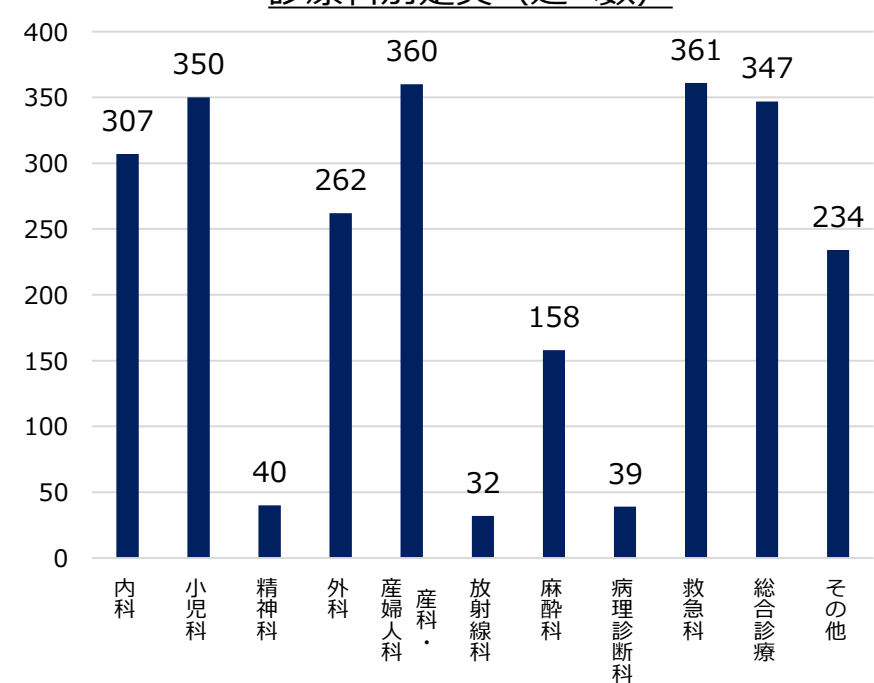
診療科選定地域枠定員



診療科別設置大学数（延べ数）



診療科別定員（延べ数）



ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

令和7年度予算額
(前年度予算額)

5億円
5億円)



現状・課題

- 新型コロナウイルス感染症を契機に、医療人に**求められる資質・能力が大きく変化**。
- 高齢化の進展による**医療ニーズの多様化**や**地域医療の維持**の問題が顕在化。
- 高度医療の浸透や地域構造の変化**（総合診療医の需要の高まり、難治性疾病の**初期診断・緩和ケアの重要性等**）により、従来の医師養成課程では対応できない領域が発生、**新時代に適応可能な医療人材の養成**が必要。
- ◇社会の変化等により、看護師に求められる能力や看護を提供する場が多様化してきたことにより、**社会的な要請に対応できる看護師の養成が急務**となっている。
- ◇医療技術の進歩に伴い、特別支援学校のみならず、地域の小・中学校等においても医療的ケア児は増加しているが、その支援体制は十分ではない。**医療的ケア児の地域における支援体制構築のためにリーダーシップを発揮する看護師の養成**が求められている。
- ◇改正感染症法の成立を踏まえ、コロナ禍で必要性が顕著となった**重症患者の対応が可能な看護師の養成**が求められている。

事業内容

【医師養成】

医療ニーズを踏まえた地域医療等に関する教育プログラムを構築・実施

- ◆地域ニーズの高い**複数分野（総合診療、救急医療、感染症等）を有機的に結合させ横断的に学ぶことのできる教育**の実施により、地域医療のリーダーとなる**人材の育成**
- ◆**地域医療機関での実習等**を通じて、
 - ①地域の課題を踏まえた教育研究の実現や地域医療への関心を涵養
 - ②専門に閉じない未分化・境界領域への対応力を涵養
- ◆**オンデマンド教材**等の教育コンテンツの開発

社会環境の変化に
対応できる資質・
能力を備えた医療
人材養成のための
教育プログラムの開
発及び教育・研究
拠点の形成

＜地域医療の課題やニーズを踏まえた教育＞



【支援期間】

7年間（令和4年度～10年度）

【単価・件数】

45百万円×11拠点

【選定大学（代表校）】

弘前大学、筑波大学、千葉大学、
富山大学、名古屋大学、岡山大学、
高知大学、長崎大学、宮崎大学、
琉球大学、埼玉医科大学

【看護師養成】

以下の2課題に対応できる看護師を養成するための教育プログラムを開発し、社会的な要請に対応できる看護師の養成を行う

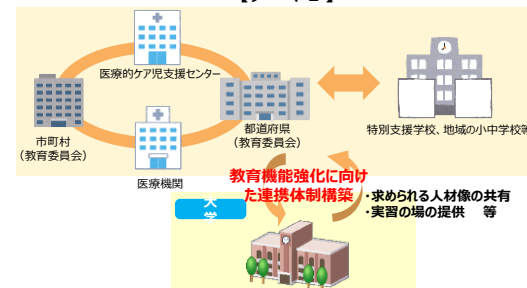
◆テーマ1「医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成」

看護学部生：医療的ケア児支援のための実習等の試行的実施
現役看護師・潜在看護師等（保健師・助産師含む）：医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成のためのリスティング教育プログラムの構築

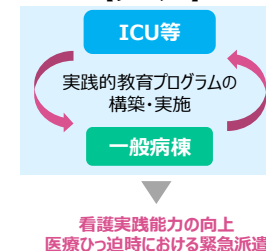
◆テーマ2「重症患者に対応できる看護師養成」

クリティカルケア領域（集中治療・救急部門等）における長期のOJT（On-the-Job Training）を含む重症患者に対応できる看護師養成のための実践的教育プログラムの構築

【テーマ1】



【テーマ2】



【支援期間】3年間（令和6年度～8年度）

【単価・件数】10百万円×各1拠点

【選定大学】テーマ1：名古屋市立大学、テーマ2：京都府立医科大学

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業[医師養成]選定結果一覧

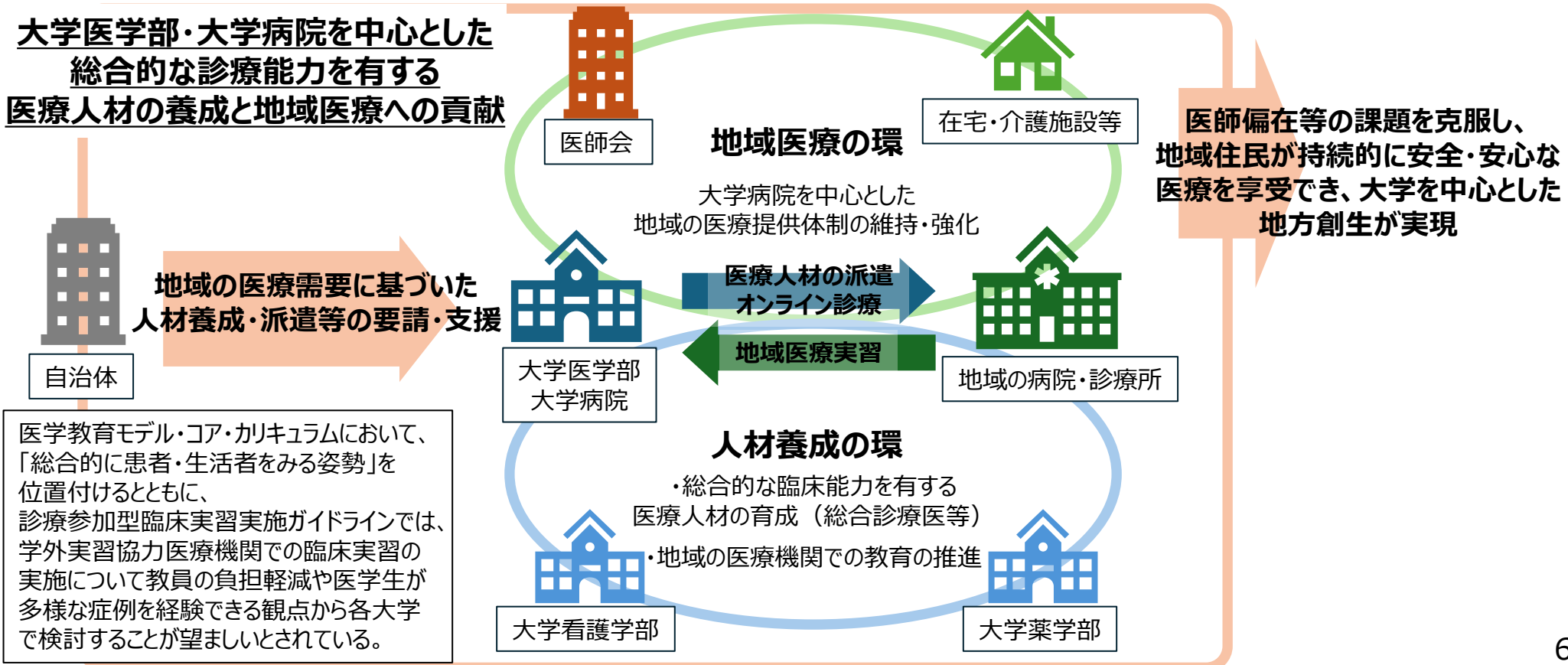
申請件数：18件、選定件数：11件

No	区分	代表校名	連携校名	事業名	主な教育プログラム・診療科
1	国	弘前大学	秋田大学	多職種連携とDX技術で融合した北東北が創出する地域医療教育コモンズ	総合診療、感染症、救急、集中治療
2	国	筑波大学	東京医科歯科大学	地域医療の多様なニーズにシームレスに対応できるオールラウンダーの養成	①地域医療、②総合診療、③緩和医療、④感染症、⑤難病・慢性診療、⑥救急医療
3	国	千葉大学	東邦大学	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム	総合診療、救急・災害医療、感染症
4	国	富山大学	新潟大学	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成	感染症・社会医学、救急・災害医療
5	国	名古屋大学	岐阜大学	医療人類学とバーチャル教育を活用した屋根瓦式地域医療教育（濃尾+A）	総合診療、救急、感染症
6	国	岡山大学	島根大学、香川大学、鳥取大学	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築	救急・災害、総合診療、感染症、公衆衛生
7	国	高知大学	三重大学、和歌山県立医科大学	黒潮医療人養成プロジェクト	救急（災害医療を含む）、感染症、在宅医療、遠隔医療、公衆衛生
8	国	長崎大学	熊本大学、鹿児島大学	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域と暮らしを支える医療人の育成～	感染症、総合診療、地域包括ケア、救急・災害医療、離島・へき地医療
9	国	宮崎大学	東京慈恵会医科大学	地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら広がる 医師養成モデル事業 ～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～	地域医療、救急医療、総合診療、感染症
10	国	琉球大学	佐賀大学	島医者・山医者・里医者育成プロジェクト（ER型救急・総合診療に対応できる医師育成）	救急、総合診療
11	私	埼玉医科大学	群馬大学	埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成	がん医療、難病医療、遺伝医療、感染症、総合診療、プライマリケア

地域の医療需要に対応するための医療人材の養成

- 医師の偏在問題等の課題に対応するためには、自治体、大学医学部・大学病院、地域の医療機関、地域住民が一体となって、人材養成や地域医療に取り組む必要がある。
- 自治体の地域の医療需要等を踏まえた要請・支援の下、大学医学部・大学病院が多様な医療資源を活用しながら、地域医療の維持・強化に取り組むとともに、地域の医療機関においては教育の場の提供などを行い、地域住民が持続的に安全・安心な医療を享受できる体制構築が必要である。
- そのためには、総合診療医等の総合的な臨床能力（マネジメント能力を含む。）を有する医療人材の育成が必要であり、その体制構築のための支援を検討する。

大学医学部・大学病院を中心とした 総合的な診療能力を有する 医療人材の養成と地域医療への貢献



令和7年度当初予算額 4.5億円 (3.0億円) ※()内は前年度当初予算額 ※令和6年度補正予算額 1.1億円

1 事業の目的

- 経済財政運営と改革の基本方針2024において、総合的な診療能力を有する医師の育成や、リカレント教育の実施等の必要な人材を確保するための取組を実施することとされており、医師の地域偏在と診療科偏在の解消に向けた取組のひとつとして、幅広い領域の疾患等を総合的に診ることができる総合診療医の養成を推進することを目的としている。

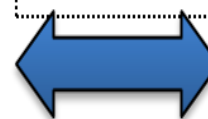
2 事業の概要・スキーム

総合診療医センター(仮称)の設置

- ・総合診療科医師を責任者とするいわゆる総合診療の医局・講座をブロック毎に設置し、経験豊富で指導力がある指導医を集約する
- ・主に地域枠学生を対象としたシームレスな実習・研修プログラムの策定
- ・地域枠学生の選考時から、卒後のキャリア支援まで行う一貫した指導体制を確立する。
- ・医師少数区域等、地域医療を担う医療機関でのバックアップ等体制整備
- ・医学生・医師の総合診療医(家庭医や病院総合医など)の多様なキャリアパスを構築支援



ブロック毎の総合診療研修施設ネットワークの確立
総合診療医センターはハブとして機能
学術的な側面は、地域における実習や研修において支援



ブロック内医師少数地域等



補助事業内容 各過程横断項目

- ・総合診療医センターの医師が自らキャリアパスのモデルを提示
- ・総合診療医を目指す医師(特に地域枠入学)の専門研修へ向けたキャリアに関するサポート
- ・研修後の勤務先の提供、調整

補助事業内容 医学教育

- ・総合診療科の講座構築のための講師派遣
- ・ネットワークを用いて指導体制が充実した地域実習(総合診療)を提供し、地域枠学生の医師少数地域等での実習促進

補助事業内容 臨床研修

- ・広域ネットワーク化した地域重点型研修プログラムの整備・提供(医師少数区域を含む充実した研修)

補助事業内容 専門研修とその後

- ・診療内容の相談対応、診療時対応の際の指導医・上級医のサポート
- ・医師少数区域で診療する際のバックアップ機能

3 実施主体等

- ◆実施主体：医師養成課程を有する学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条の規定に基づく大学
- ◆補助率：定額 ◆事業実績：令和7年度交付対象大学数→12大学